

(20180512 練習メモ)

「島よ」

- ・ 8パートに分かれる「島よ～島よ～」の重なりは各パート、声の勢いを倍に
- ・ 第二部「まぶしさに」の三拍子に勢いを持って、楽譜から目を離して指揮者とコンタクトをとろう！
- ・ 第二部と第六部の三拍子がシンメトリー構成のこの曲の胆(肝)。拍子の変化を意識して。
- ・ 全体的に表現をもっと劇的にしたい 「ああ」や「おお」は感嘆詞として表現する
- ・ 言葉ははっきり、パートで合せて

P3 出だしのAlto、声を出して“歌おう”

P4 「碧い日々」の「あおい」を遅れずにハッキリと、「時の波に」でステージが上がる

P5 Bassの「洗われているものよ」の「よ」のcresc.は直ぐにかける

P6 「距てられ」の「へ」のHをハッキリ Sop.の「憧れ」「虚しさ」の語感を！

P7 「眼にみつめられて」のunisonはしっかりした p(t^oノ) で

p8 第二部の出だし、顔をあげて

P12 Altoは声の響きを前で、しっかり、他のパートはAltoを引き立てるように

P14 「なぜ なぜ なぜ」 何故三回もいうのか！

P19 Bassの「果実(ミミ)のように」の「こ」をもっと響かせて “アカデミーのベース”の声！

P23 Sop.「枝をしなわせ」の6度音程を時間をかけてもっとうねって（語感を出そう）

P24 「この狂気」の「きょうき」のkyも鋭くハッキリ

P25 「数しれぬ 昼と夜」松葉をハッキリ

P26 「そがれ」「けずられ」三連符が滑らないように（少しテンポを落とすのでハッキリ）

P33 Ten.最初のDesの音はmp（音程上がるが大きくならない）

P38 下の段 最後の小節のritをもう少しはっきり

P44 Bassの「Ah」の前打音はもう少したっぷり

P51 Sop.「見知らぬ一日が」この魅惑的な旋律を、もっと“がっつり”歌おう！

P53 第六部の三拍子（もう一つの三拍子）

P58 「おまえは 私ではないのか」アルトを受けて、ソプラノは更にはっきり

「帆を上げよ、高く」第3曲

P52 Ten.の出だし 息を流して、透明感のある声でやわらかく

P53 30小節 4パートしっかり揃ったpで

P55 「はるかに」 dim.をいかしてpにもっていく

P57 「Go」は[gou] 「peace」の[p]は破裂音 「Be strong」のstrongのrはまいてもいいかも

P60 85小節のsop.「うなばらを」の音確認 「ば」と「ら」は同じ音、「ら」と「を」は全音

P63 ここからのフーガ、P68の ffに向かって、パートの役割を考え、エネルギー配分を計算

P68 練習番号pの「Go,～」 ffから p に落としてcresc.→ ff （ダイナミクを計算して）

P69 170小節 Bassの「われら」は 別物にしてはっきり

P70 181小節 男声も accel. (上の段の accel.と同様)

2018/05/15

文責：関@13期